

奥穂初登復記

5月2~5日 メリヤー:森田先生と学生の吉田

今年のゴールデンウィークは掛け値なしの3連休なのでどこか雪のある山へ行こう、とM氏から誘われた。彼はでまれば北アルプスが良いと言う。僕は上高地近辺に足を踏み入れたことがないので、その辺りへ…という訳で思いきり奥穂へでも行ってみようということに決まった。人の数は多いにさうか、その方が安全でなく事故にあう確率も高い訳だが)5月は南-中央-北-南という過去の実績?からいっても北が妥当なのだ!

5月2日 8:00pm 北コンコースへ。「ちくま」の行列は、と見ると何んと中央コンコース。しかも二重三重の長蛇の列で松本まで立ちゃんぼうと覚悟したか 大明神様の靈駿で指定かとれたので、勇躍列を離れて乗り込んでも。座席にはありつけたものの結局眠れず、睡眠不足で危うくピッケルを忘れるところだった。

さて3日、初めて上高地に足を踏み入れる。予想通り大量の雪で夏道はトレースはあるもののずっと雪の上を明神~徳沢~横尾、と大勢の登山者とぬきつ、ぬかれつ、ぬかれつ…で渾沌とめざす。天気は直後晴れ間が見えついにリしたのに、横尾本谷付近から雨となり、渾沌小屋について時にはすぶぬれになってしまった。おかげにカサを手に忘れてきては、Eのて休むこともできず ピタリテに坐ってしまった。

4日は朝から晴れ。快晴とはいいかないか 晴れである。予定の北穂~渾沢槍コースは指導員の言に従いあきらめて直接、白出コルに向う。コース上はそれこそアリの行列の如く登山者がひしめいている。我々は9:00復出発。途中、日がさしてきて真夏を思はせたか 3ピュタでなんなくコルへ。時間かメタマツ余って、こんなことなら北穂から行くんだったか、と思ったか 気を取り直して渾沢岳へ。これも一応 3100m、槍がやと見えた。北穂~渾沢岳の稜線はさすがに人気がない。北穂へ登った人の数は、白出コルへ登ってきた人の数とさほど変わらなかったように思えたのだか。

5日、風強し、快晴。10:00 穂高岳山荘出發。涸沢とみまとテント村か
11つのまにか消えている。人の殆んどいない稜線を奥穂へ、約30分で到着。
すばらしい展望だ。ハツ～南～中央～白山…と、日本の3000m峰は
すべて見えていいのではないかとうか。写真をばっかりとて、さて後は
下るのみ…と思つたら夏と遼い意思に反して前穂に登らされた。
更に奥明神沢をまたかさまに下つて岳沢へ。あとはこじけるようにバス停
丁度バスに間にあって、大阪へついたら23:10。超駄足山行だったが
これも北アルプスならでは。

ジヤンダルムと白山 →



槍山バックに↓



例の河童橋にて ↓

